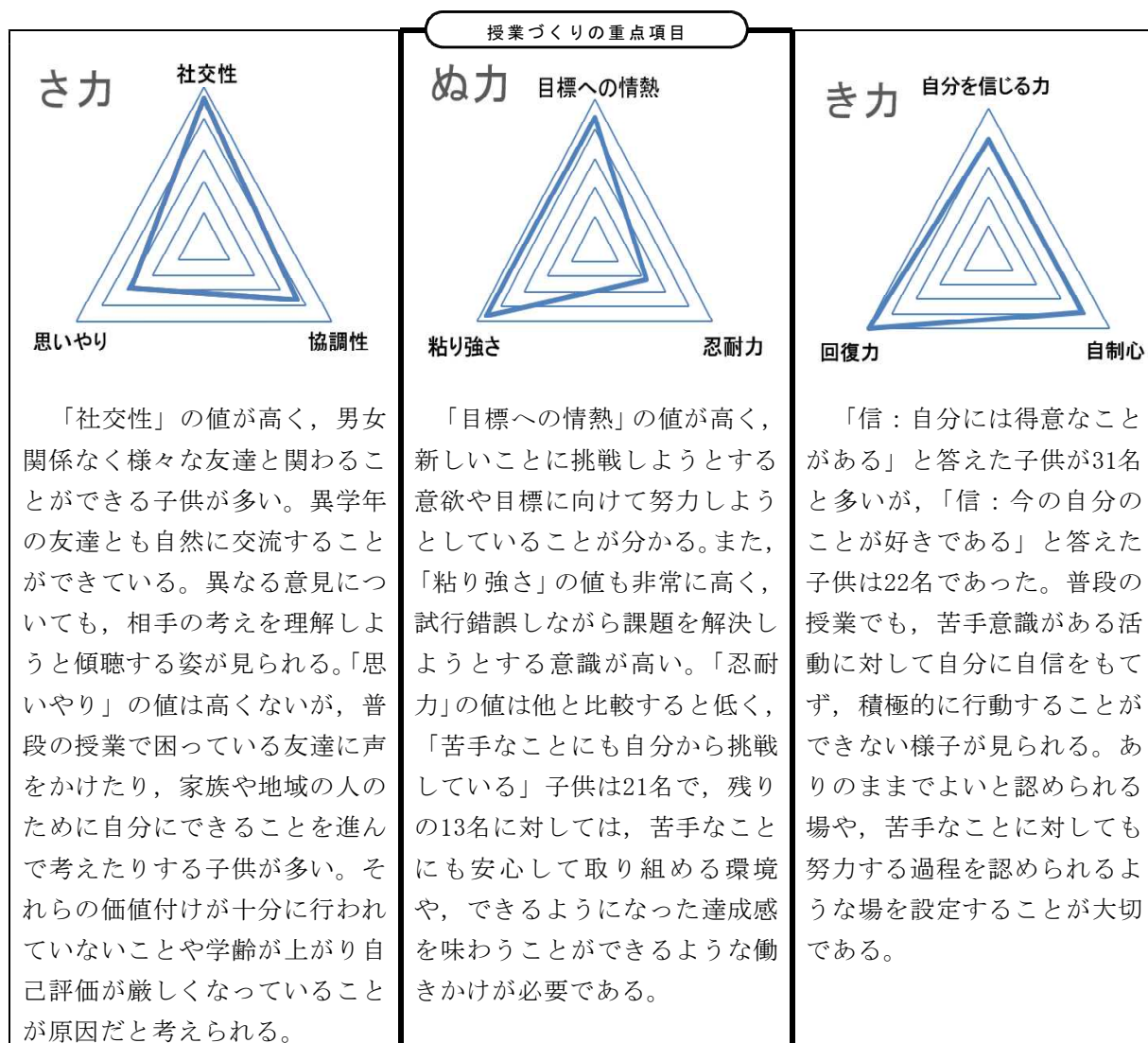


1 さぬき力に関する子供(34名)の実態



2 教科に関する子供の実態

- ・「家庭科で学習したことを生活の中で使えないか考えているか」 「はい」(26名)「いいえ」(8名)
- ・「分からないことや困ったことがあるとき、どうしますか」
「友達に聞く」(21名)「自分で調べる」(8名)「先生に聞く」(2名)その他(3名)

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…「目標への情熱」や「忍耐力」の自覚度が低いが、普段の授業では、最後まで真面目に課題に取り組む姿が見られる。「自分を信じる力」の自覚度が低く、自分への自信の無さから、「ぬ力」への自覚度が低くなっていると考えられる。教師の受容的な言葉かけや、友達の様子を見たり友達と一緒に取り組んだりすることで、自信をもって活動することができる。

B児…注意が散漫になりやすく、一つのことを継続して行うことが難しいが、見通しをもち、何をすればよいか明確になっていると、進んで取り組むことができる。

第6学年東組 家庭科学習指導案

「1年生ともっとなかよく ～スマイルプロジェクト～」

学習指導者 田中 明日香



1 本題材で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本題材では、地域の人々との関わりの学習を基礎として、これまでの1年生との関わりを見つめ、「1年生ともっとなかよくなるために、自分たちには何ができるだろう」という問題を見いだす。家庭科でのこれまでの学習内容を想起して、更に探究したいこと、自分にできることなどを考えて課題を設定し、縦割り班の1年生ともっとなかよくなるための「スマイルプロジェクト」の計画を立てる。その後、「給食で苦手な食べ物があるという1年生に、苦手なものでも食べられるようにするために、栄養の大切さを教えたい。1年生が楽しく聞いてくれるようにするにはどうしたらいいかな」「1年生に実際に困っていることを聞いて、計画しているのがいいね。赤青黄の三つのグループについて、1年生が楽しめるようにイラストなどを使って話をあげたらどうかな」「なるほど、イラストを使って話すと、楽しんでもらえそうだね。パソコンを使った紙芝居作りを計画に入れよう」などと友達と交流し、様々な意見を参考にし、よりよい計画へと見直していく。そうして考えた計画を基に準備をして、実際に1年生と関わっていく。実践後、1年生とよりよく関わるための一連の活動について考えたことを写真や動画を使ってスライドにまとめて表現したり、実践した結果を評価・改善したりする。1年生との関わりを通して、他者のために自分のできることを考えて実践する喜びを味わい、課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。これからどのような生活をしたいか、自分だけでなく周りの人々にとってもよりよい生活とはどのようなものかを考えながら、周りの人々と協力して生活していこうとする姿を目指したい。

2 題材計画と働きかけの概要（本時3／5）

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 1年生との関わりについて振り返ろう</p> <p>校外学習を通して1年生との関わりについて振り返ったことや1年生が回答したアンケートの結果について話し合い、これまでの1年生との関わり方を見つめ、「1年生ともっとなかよくなるためにスマイルプロジェクトを実践しよう」という学習のゴールを設定する。</p>	<p>見通し 情【どんな自分になりたイカ】②～⑤ 1年生とのよりよい関わり方のイメージ（なりたい自分）を個々に記述しておき、本時の学習と自己の成長のつながりを意識させる。㊦つながりを意識して課題へ取り組もうとしている子供を即時的に称賛する。</p> <p>行動 粘【プロジェクト再確認タイム】③～⑤ 友達の意見等を基に、計画を見直したり、実践を評価・改善したりする場を設定する。㊦プロジェクトをよりよい計画にしたり、具体化したりしている子供を教師が全体で紹介し、即時的に称賛する。</p> <p>振り返り 信・回【到達度はイカが】②～⑤ プロジェクト成功までの到達度とその理由を記述させ、自分の成長を感じられるようにする。到達度が低い子供には、教師が次にしたいことを問う。㊦計画がよりよくなったと感じていることを教師が価値付ける。次にしたいことを表出した子供の前向きに取り組もうとする姿勢を価値付ける。</p>
二	<p>② 1年生のためにできることを考えよう</p> <p>家庭科での学びを想起し、1年生のために自分にできることを考えて「布を使って製作したものをプレゼントする」「机の中の整理・整頓の仕方を教える」など、1年生となかよくなるための方法「スマイルプロジェクト」の計画を個別に立てる。</p> <p>③ 「スマイルプロジェクト」をもっとよい計画にしよう</p> <p>個別に考えた「スマイルプロジェクト」を関連する内容を考えているグループで発表し合い、互いのよさやアドバイスを伝え合いながら、よりよい関わり方ができるように、計画を見直す。</p> <p>特別活動 「スマイルプロジェクト」の準備をしよう それぞれの「スマイルプロジェクト」の計画を基に準備をする。</p> <p>特別活動 「スマイルプロジェクト」を実践しよう 準備してきたことを生かして、1年生と交流する。</p>	
三	<p>④⑤ 「スマイルプロジェクト」を振り返ろう</p> <p>「スマイルプロジェクト」の実践について写真や動画を使い、スライドにまとめる。まとめたスライドを用いて発表し合い、計画を評価して、今後の周りの人との関わりについて考える。</p>	

3 本時の学習

目 標	個別に考えた「スマイルプロジェクト」の計画について友達と交流する活動を通して、実践に向けて、1年生との関わり方の計画を工夫することができる。
--------	--

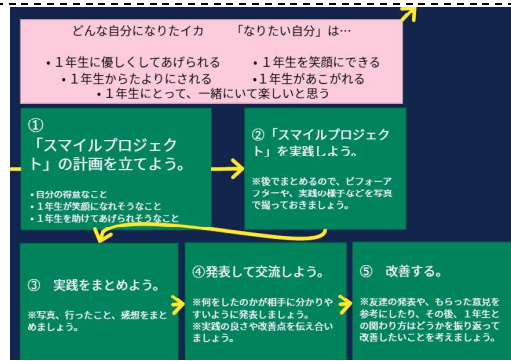
学習活動と働きかけ	主な子供の意識			
見 通 し	1 学習課題を設定する。 【目標への情熱】 【どんな自分になりたイカ】	<p>前の時間には、家庭科の学習を生かして、1年生ともっとなかよくなるための「スマイルプロジェクト」を考えて、チェックポイントを確認したよ。</p> <p>一人でするのは難しそうだから、友達と一緒に取り組みたい。 やりたいことは考えたけど、1年生が楽しめるか不安だ。</p> <p>友達と「スマイルプロジェクト」の計画について相談したい。</p> <p>今日の学習課題が解決できたら、プロジェクトの成功に近づきそうだ。</p>		
	「スマイルプロジェクト」をもっとよい計画にしよう			
行 動	2 友達の意見や、アドバイス動画等を参考にし、計画を見直す。 【粘り強さ】 【プロジェクト再確認タイム】	<p>友達の意見を聞いて、1年生が喜んでくれる計画にしよう。</p> <p>苦手な食べ物があると言っていた1年生に、栄養バランスの話をしてあげたいけど、楽しく聞いてもらうためにはどうしたらいいかな。 様子を見に行ったり、片付けが苦手そうだったから、一緒に机やロッカーの整理・整頓をしようと思ったよ。</p> <p>机の中の整理・整頓に使える小物入れを、二人で作ってあげたらどうかな。 家庭科室の食べ物のイラストを使ったら楽しくなるんじゃないかな。</p> <p>私は、裁縫が得意だからミシンを使って何かを作ってプレゼントしてあげようと思うんだけど何がいいかな。</p> <p>なるほど。生活に役立つ物がプレゼントできるね。一緒に作ろう。</p> <p>1年生の先生のアドバイスや1年生のアンケートも見てみよう。</p>		
	3 全体交流をして、再度自分の考えを見直す。 【粘り強さ】 【プロジェクト再確認タイム】	<p>チェックポイントが良くなるように見直そう。</p> <p>1年生の先生が「言葉より絵で説明して、分かりやすくしている」と言っていたので、パソコンで食べ物のイラストを動かせるようなクイズを作ろう。 1年生が自分一人でも整理・整頓して、きれいな状態が続くようにしたい。小物入れをプレゼントして一緒に片付けよう。</p> <p>〇〇さんと協力して、小物入れを作ろう。縦割り班の1年生に好きな色や柄を聞いて、生活に役立つ小物入れができるといいな。</p> <p>1年生ともっとなかよくなるための計画が具体的に考えられたよ。</p>		
振 り 返 り	4 本時の学習を振り返る。 【自分を信じる力】 【回復力】 【到達度はイカが】	<p>到達度は80%になったよ。はじめは自分がしたいことだけしか考えられてなかったけど、1年生が喜んでくれるような計画が立てられたからだよ。</p> <p>〇〇さんの計画は、1年生が楽しく学べるようになったね。</p> <p>到達度は50%から上がらなかった。計画は前の時間に考えていたのと変わらなかったからだよ。次は1年生にあげるプレゼントを作りたいと思うよ。</p> <p>達成度は上がらなかったけど、次にしたいことが考えられたよ。</p>		

評 価	「スマイルプロジェクト」の計画を友達と交流することを通して、1年生との関わりに関する課題の解決に向けて、1年生にとってのよりよい生活について考え、計画を具体的に工夫するとともに、実践に向けて主体的に取り組もうとしている。 【方法：発言・様相・記述】
--------	--

働きかけの詳細資料

～見通し～ **学習活動1** 情【どんな自分になりたイカ】(2～5時間目)

題材の学習を進める中で「なりたい自分」について、個々に記述しておき、見通し場面で確認する時間を設定する。また、題材の課題解決の流れについて子供たちと共通理解しておき、それが生活の中の「なりたい自分」につながっていることが分かるように提示する。本時は、前時に考えた計画についてのチェックポイントからもっとよくしたいポイントを確認し、課題意識がもてるようにする。そして、「スマイルプロジェクト(本題材)のゴールは何ですか」と問い、「1年生ともっとなかよくなること」「1年生からたよりにされる6年生になりたい」などなりたい自分について友達と伝え合って確認する。さらに、「今日の課題を解決できたら、なりたい自分に近づくかな」と問い、本時の課題解決とスマイルプロジェクトの成功やなりたい自分に近づくことにつながりを意識していることを価値付ける。



【題材の課題解決の流れ】

～行 動～ **学習活動2・3** 粘【プロジェクト再確認タイム】(3～5時間目)

スマイルプロジェクトの計画を工夫したり、実践を評価・改善したりする際に、友達と交流する場を設定する。

子供たちは前時、個別に計画を立てている。本時は、互いの計画について相談やアドバイスをしやすいように、計画内容が似ている子供や、計画の準備で協力し合える内容の子供をグルーピングする。発表し合う際は、チェックポイントを基に、目的意識や相手意識をもって、足りない部分を補えるような計画を考えるように声かけをする。また、計画を改善したり加筆したりする際は青色でワークシートに書き加えるように指示し、交流前後の変容が分かるようにする。一人一台PCを活用し、1年生のアンケート結果や先生方からのアドバイス動画等を自由に見ることができるようにおき、よりよい実践に向けて試行錯誤することができるようにする。その際、互いの計画に対して相談し合っているグループやアドバイス動画等

1 家庭科の学習を生かして、1年生とよくなる方法を考えよう。これまでに学習したどんな内容が役に立つかな。

家庭科で学習したこと(これを生かすか○を付けよう)

・整理・整頓 ・そうじ ・調理 ・洗濯・パランス ・手縫い ・ミシンやアイロン
・夏の着方 ・夏の住まい方 ・お金の使い方 ・その他()

2 計画を考えよう。

1年生が笑顔になる方法

それをしようと思った理由

準備・道具

工夫など

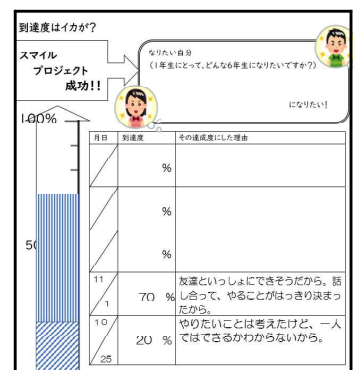
チェックポイント	達成度	理由
① 1年生が喜ぶ	5 4 3 2 1	
② 1年生のためになる	5 4 3 2 1	
③ 1年生と6年生がなかよくなる	5 4 3 2 1	
④ 自分(6年生)も楽しめる	5 4 3 2 1	
⑤ 準備が簡単。自分でできる	5 4 3 2 1	

【計画表とチェックポイント】

を参考にしている子供を全体で紹介するとともに、ワークシートに青色で加筆して試行錯誤していることを即時的に称賛する。全体交流では、試行錯誤がよりよい計画につながった子供を紹介し称賛することで、粘り強く課題に取り組むことの価値に気付かせたい。B児の注意が散漫になっている様子があれば、計画の改善のアイデアとなり得る動画を紹介して、計画を見直すことができるようにする。

～振り返り～ **学習活動4** 信・回【到達度はイカが】(2～5時間)

スマイルプロジェクトに対しての「到達度」と「その理由」を記述する時間を設定する。「到達度」は、グラフで表すことで、視覚的にも計画の進捗が感じられるようにする。記述が終わった子供からカードを交換し合い「到達度は80%なんだね。計画が詳しくなったし1年生が喜びそうな計画になっていたね」などと互いの頑張りについて伝え合うことで、相互に学習への取り組み方を価値付けられるようにする。到達度が上がらなかった子供には、実践に向けてこれから取り組みたいことを問い、「回復力」を発揮させて、前向きに取り組もうとする姿を称賛する。また、ワークシートの加筆部分に注目させ、自分の頑張りを見つめることができるようにしたい。A児の計画について確認し、よりよい計画



【到達度はイカがカード】

になっていることを具体的に称賛することで「自分を信じる力」を高めることができるようにしたい。

